

みなさんから寄せられたイトーヨーカドー弘前店の思い出【メール✉・記入用紙📄】

(1) ✉ ■ 私が大学1年の時に生まれて初めてのアルバイトをしたのがイトーヨーカドーでした。年末年始の期間でしたが、クリスマスのプレゼントや正月用品を求めるお客様の多さに、ただただビックリしたことを思い出します。正月期間のためか1月2日、3日に勤務したアルバイトにはバイト代とは別に大入袋と書かれたポチ袋に、お年玉をもらえたことが嬉しかったです。／古川さん

(2) ✉ ■ 全国的に見るとイトーヨーカドーは大型スーパーマーケットに分類されますが、弘前では百貨店級の存在といってもいいでしょう。駅前地区新市街地の形成に大きく寄与した存在です。

私が幼稚園児から小学校低学年だった頃、世に言うバブル景気の時代でした。少量のラムネ菓子に玩具がついた箱物(特にメタルヒーロー)を目当てに、地下の売り場に通ったのを思い出します。同フロアのバスターミナル側には、玩具店があり、ここにもよく足を運びました。

それから、当時はエレベーターのお姉さんがボタンを押して案内されていたのが懐かしいです。エレベーターガールは土手町の中三にもおりましたが、その存在がヨーカドー弘前店の価値を高めた一因だと思うのです。

8階屋上の遊具コーナーも好きでした。店内から外へ出る所の右側に、綿飴を作って楽しむ機械がありました。いつだったか作っている最中に、何かがパチッと顔にはねて驚いたことが忘れられません。／對馬和也さん(郷土地理愛好家)

(3) ✉ ■ 東北の田舎育ち。知らないこと、足りないものばかりだった。そんな環境だと感動へのハードルが低く、些細なことで豊かな気持ちになれた。「明日弘前さ行くぞ」そう言われた日は、ドリフが終わったら大急ぎで歯磨きをして布団にもぐり早く寝た。早く明日になって欲しかったからだ。枕元にはきれいに畳んだよそいきの赤いワンピースに白いタイツ。興奮してなかなか眠れなかった。

あっという間に朝になり、家から駅までタクシーに乗り、そこから五能線に一時間揺られて弘前へと向かう。国鉄に勤めている親戚のおじさんが時間になると出てきて、切符にパチンとハサミを入れてくれるのも嬉しかった。虚弱体質だった私は、汽車でさえも酔っていたが、そろそろ限界だと思った頃、まもなく終点弘前です。とアナウンスが入ると気持ち悪さも吹っ飛んだ。降り立った駅は何から何までハイカラな匂いがした。田舎育ちの私にとってまぎれもない都会。

駅前からほんの数メートル歩くとそこに8階建てのイトーヨーカドーがあった。まばゆいばかりにそびえ立ち、てっぺんに今にも飛び立ちそうな鳩のマーク。それは私にとってデパートだった。大人になってから、イトーヨーカドーがデパートではなくスーパーマーケットだと知って、結構な衝撃を受けた。

私は高校卒業後、横浜のデパートに就職した。田舎にはないような一流の品々、素敵なのがたくさんあるのだけれど、あの頃のイトーヨーカドーの店内のワクワク感は都会のデパートにはなかった。

私の知っているデパートは、あくまでも汽車に揺られて酔いながら行った駅前にそびえ立つイトーヨーカドーなのだ。店内に入って数時間後には、母の長すぎる買い物に閉口し、試着室で座り込んでいる。疲れてしまうのだ。何度も服を体にあてがわれ、そばにいないと迷子になるでしょとにらまれる。とにかくすべての売場をくまなく見ている。

8階のレストランのプリンアラモード、お小遣いを握りしめて何をかうか悩んだサンリオショップ。編み物好きの母が大量に買う毛糸。

当時は、制服を着た店員さんがたくさんいて活気に溢れていた。

きっとハそくりをたんまり持ってきたであろう母と、朝から晩まで歩き回り過ごした夢のような場所。一日中買い物をして、指に食い込む荷物を持って、再び駅へと歩く夕方の道。

それは、当時の私にとっては、ディズニーランドの帰り道のような満足感だった。疲れて汽車に揺られ、いつの間にか寝てしまい、母に起こされ夢のような一日が終わる。

買ってきた新しい服や、紙袋の匂いに心ときめいた幼かった自分。

あと数カ月で、そこにあるのが当たり前だった駅前の景色は様変わりする。あの今にも飛び立ちそうな鳩の看板を見ていると、もう一度だけでいいので年老いてしまった母と、イトーヨーカドーという、デパート巡り。これをもう一度してみたくなくなった。／藤田信子さん

(4) ㊦ 中学生のころ、学校が終わってから塾までの時間にみんなでクレープを食べに通うのが大好きでした。社会人になってからも、ねぷたまつりの運行の前に腹ごしらえにみんなでレストランに行っていました。／加藤さん

(5) 画 ■ 開店から4年後の昭和55年、みちのく銀行十和田支店から弘前営業部に転勤しました。休日に早速イトーヨーカドー弘前店に買い物に行き、現金をおろそうとしたら、青森銀行のCD(キャッシュディスプレイ)はあったのにみちのく銀行のは無かった。それではと翌日店長に会見を申し入れたところ快くお会いしてくれました。偶然ですがイトーヨーカドー経営者と同姓同名でした。店長に「CDの設置のお願いに来ました」と言ったら、「なんで今まで来なかったんですか」と少し語気を強めて言われました。さらに「CDを設置すればおたくもいいし、うちもいい、何よりお客様が一番喜ぶでしょう」と言われ、とにかく早く設置しましょうとCDが設置されました。／鈴木敏文さん



画・鈴木敏文さん